そのときに備えて

大雪

国立研究開発法人防災科学技術研究所

本パンフレットは防災科学技術研究所が発行している「そのときに備えて」の大雪に関する章を抜粋したものです。完全版は以下のURLからダウンロード出来ます。

https://www.bosai.go.jp/activity_general/index.html

大雪

日本の面積の半分以上は豪雪地域です。
雪の多い地域では、さまざまな雪の事故が
おこっています。一方、ふだん雪が少ない地域では、
わずかな雪でも歩行者の転倒や車のスリップ事故
などが発生し、生活に影響をあたえます。
事故を防ぐためのポイントを、覚えておきましょう。

大雪のときには

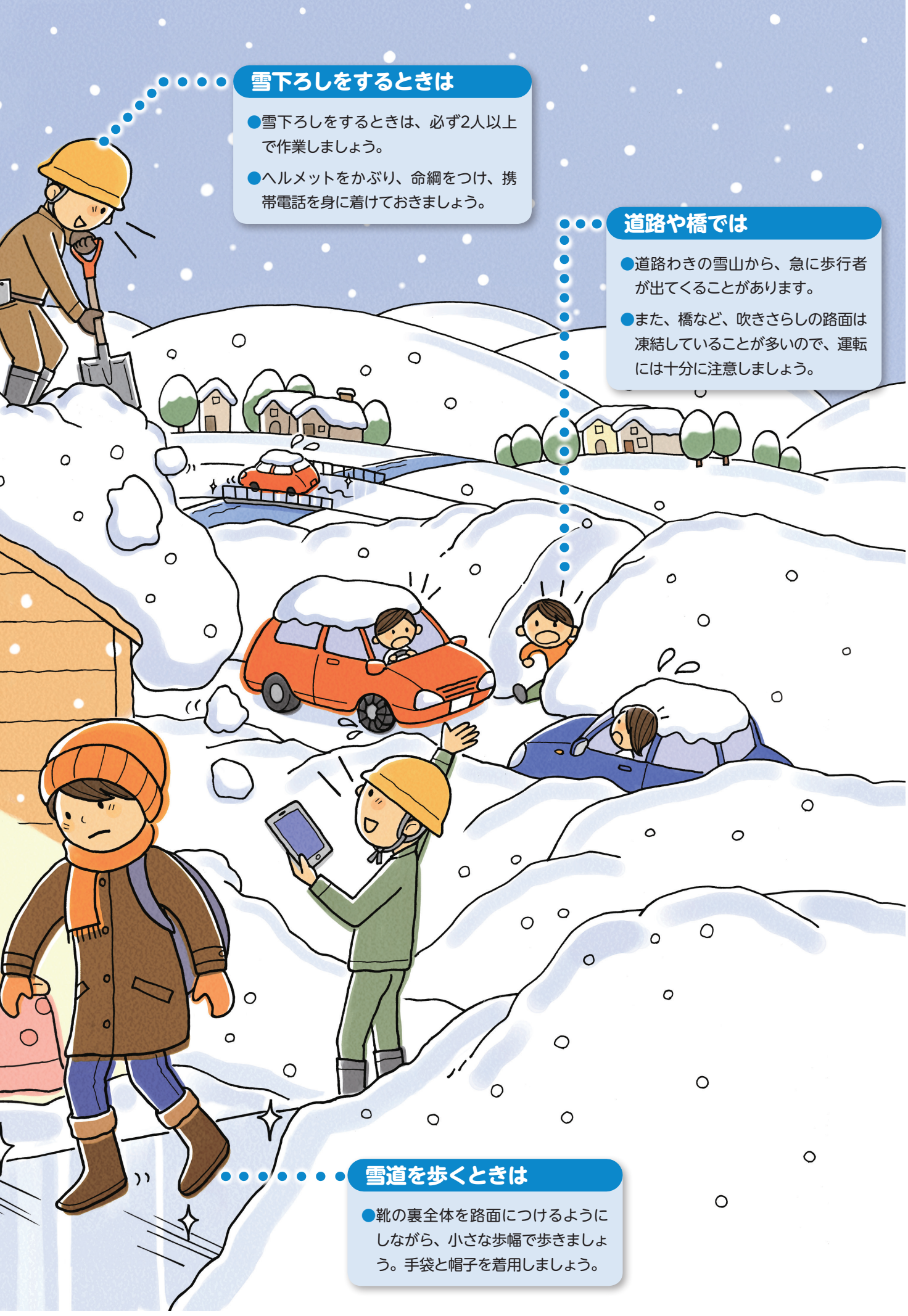
大雪の予報が出たら、なるべく外出を控えるようにしましょう。
気温が上がったときは屋根の雪がゆるむので、落雪には、特に注意しましょう。

軒下などでは

●軒下などから、雪のかたまりや、つららが落ちてくることがあります。

大雪予報が出たときは

●大雪の予報が出たときは、なるべく外出を控えましょう。雪かき用のスコップを用意しておくようにしましょう。



雪下ろしをするときは

- 雪下ろしをするときは、必ず2人以上で作業しましょう。
- ヘルメットをかぶり、命綱をつけ、携帯電話を身に着けておきましょう。

道路や橋では

- 道路わきの雪山から、急に歩行者が出てくることがあります。
- また、橋など、吹きさらしの路面は凍結していることが多いので、運転には十分に注意しましょう。

雪道を歩くときは

- 靴の裏全体を路面につけるようにしながら、小さな歩幅で歩きましょう。手袋と帽子を着用しましょう。

雪にひそむ危険

雪には危険がいっぱいです。
雪の事故を防ぐために、危険な場所を把握しておきましょう。

ホワイトアウト

●風が強いときは地吹雪が発生することがあります。目の前が真っ白で何も見えなくなることがあります。(ホワイトアウト)

運転するとき

●やむを得ず車を運転するときは、ライトを点け、車間距離をとって、ゆっくり運転しましょう。

スキー場

●スキーやスノーボードはスキー場のゲレンデ・コース内で！

建物のそば

●屋根から雪やつららが落ちてくることがあります。

川や水路

●雪で川や水路が見えなくなっていることがあります。

立ち往生したとき

●運転中に立ち往生したら、近くの安全な場所に避難しましょう。避難が難しいときは、エンジンを切り車中にとどまります。暖を取るためにエンジンをかけるときは、マフラーまわりを除雪してください。車には防寒着・手袋。長靴・スコップを載せておきましょう。

寄せ雪の上

●寄せ雪（除雪した雪）の上を歩くと、滑って車道に飛び出してしまうことがあります。

防災科学技術研究所の取り組み

リアルタイムであらゆる雪氷災害の危険度を可視化!

これまでは主に日本海側の積雪地域で起きていた雪氷災害。しかし近年、太平洋側の雪の少なかった地域、首都圏の人口密集地などでも深刻な被害が見られるようになってきました。
雪氷災害は従来、天気や風速などから統計的に予測されてきましたが、物理法則による新たな予測システムを開発しています。たとえば、気温が何度で風速が何メートル/秒なら、雪はどれだけ融けるのか。そうした一つひとつの過程を基本法則に基づいて数値計算し、予測の精度を高めています。

- 雪氷災害イベントツリー
- リアルタイム雪氷災害予測
- 雪の形状まで再現!
  世界唯一の実験施設「雪氷防災実験棟」
- 雪道の安全なドライブ
  路面凍結情報などを道路管理者向けに試験配信
- 「どんな雪か」をとらえる
  最先端の雪レーダ観測システムを開発中!

科学的な知見に基づきハザード・リスク情報を発信

阪神・淡路大震災や東日本大震災においては、地震や津波などに関する全国的なハザード・リスク評価の必要性が再認識されました。これまでに得られた知見と最新のシミュレーション技術を最大限に活用し、各種自然災害のハザード・リスク情報を発信していくことは、社会での利活用を通じて、わが国のレジリエンスの向上に貢献します。現在、「J-SHIS 」などハザード・リスク情報ステーションの開発とリアルタイムでの被害推定技術の開発などを中心に、日本全国を対象とした研究開発・情報発信を進めています。

- 地震動予測地図の作成に貢献
- 日本全国を対象とした津波ハザード評価の推進
- 速やかに地震の面的震度分布や被害状況を推定

防災科学技術研究所の一般公開

世界でもめずらしい人工降雪

マイナス10℃の実験棟のなかで、天然の雪にそっくりな人工雪が降るのを体験しよう。

ペットボトルで雪の結晶をつくろう

キラキラきれいな雪の結晶ができる様子を観察しよう。

※イベント内容は変更される場合があります

防災科学技術研究所雪氷防災研究センターはウェブサイトでも情報を発信しています。

https://www.bosai.go.jp/seppyo/

防災科学技術研究所の取り組み

E-Defense

備蓄品チェックリスト

自分に必要なものを事前にリュックサックなどに入れておきましょう。
定期的に確認しましょう。

- [ ] 飲料水（1人1日3リットルが目安）
- [ ] 非常食（缶詰、アルファー米、インスタント食品類）
- [ ] 懐中電灯（予備電池）
- [ ] ヘルメット
- [ ] 革製手袋または軍手、マスク
- [ ] 衣類、雨具
- [ ] 簡易トイレ
- [ ] 運動靴、厚手の靴下
- [ ] タオル、ティッシュ、ウェットティッシュ
- [ ] ローソク、マッチまたはライター
- [ ] 多機能ナイフ
- [ ] 使い捨てカイロ
- [ ] アルミ製保温シート
- [ ] 厚手のビニールシート
- [ ] ロープ
- [ ] 笛（救助を求めるときに使用）
- [ ] 携帯ラジオ（予備電池）
- [ ] ラップ
- [ ] 現金（硬貨、紙幣、10円硬貨）
- [ ] 身分証明書（運転免許証など）
- [ ] 健康保険証
- [ ] 印鑑
- [ ] 携帯電話・スマートフォン（充電器）
- [ ] 家族の写真（はぐれた時の確認用）
- [ ] お薬手帳、常時服用薬、医薬品
- [ ] 筆記用具
- [ ] 家族、親戚の連絡先メモ

Webで公開中！

MOWLAS陸海統合地震津波火山観測網
https://www.mowlas.bosai.go.jp/

防災地震Web
https://www.seis.bosai.go.jp/

J-RISQ地震速報
https://www.j-risq.bosai.go.jp/report/

J-SHIS地震ハザードステーション
https://www.j-shis.bosai.go.jp/

E-ディフェンス　試験データアーカイブ（ASEBI）
https://www.bosai.go.jp/hyogo/asebi/dataopen_1.html

火山活動連続観測網 VIVA ver.2
https://vivaweb2.bosai.go.jp/viva/v_index.html

Xバンドマルチパラメータレーダ（MPレーダ）
https://mp-radar.bosai.go.jp/xnet/

積雪観測速報値、雪おろシグナルなど
https://www.bosai.go.jp/seppyo/

総合防災情報センター 自然災害情報室
https://dil.bosai.go.jp/

防災科研
NIED

発行：国立研究開発法人防災科学技術研究所
https://www.bosai.go.jp/
〒305-0006　茨城県つくば市天王台3-1
Tel:029-851-1611　Fax:029-851-3246
Email:toiawase@bosai.go.jp

制作：企画部広報課（2019.03.31）